

令和 7 年度（2025 年度）

公益財団法人びわ湖芸術文化財団事業計画

2025 年度は、滋賀県域全体の文化振興施策を総合的に推進する「公益財団法人びわ湖芸術文化財団」が滋賀県から受託する第 4 期指定管理の最終年度となる。

滋賀県文化振興基本方針（第 3 次）の基本目標である「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」を実現するため、2021 年 3 月に改訂した財団の「中期経営計画」に基づき、県立文化ホール 2 館体制のもと、びわ湖ホールを本県の舞台芸術の中心的な施設として、優れた舞台芸術を国内外に発信するとともに、地域に根ざした文化芸術活動を支援する地域創造部と文化産業交流会館が有機的に連携し、市町ホール等と協働しながら、県民の皆様誰もが文化芸術を身近に触れられる多彩な事業を展開する。

また、2025 年 4 月から 10 月にかけて開催される「日本国際博覧会（2025 大阪・関西万博）」や 9 月から 10 月に滋賀で開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」など大きなイベントを好機と捉え、コロナ禍前の活気を取り戻すべく積極的な自主事業の企画・運営を行う。

これらの取組を着実に展開し、中期経営計画および指定管理業務提案書に定める目標を達成できるよう取り組む。

1 法人本部

法人本部では、法人全体の総務・経理事務を行うとともに、県内の文化ホール、文化芸術活動者・文化芸術団体、福祉団体、学校、企業や地域等とのネットワークを充実させ、協働連携のもと、県民の皆様が身近に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、創作活動の発表や鑑賞の場、文化情報の提供等を通じて、誰もが文化芸術に親しめる環境を整備するほか、誰もが自分らしく文化芸術に親しみ、人と人がつながる滋賀を目指した取組として、県や市町の文化ホール等が実施するモデル事業等を支援し、障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくりを継続的に進めていく。

さらに、地域で活動する若手アーティストやコーディネーターの育成・支援事業、滋賀の魅力を発信する事業等を展開し、文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀の実現を目指すとともに、これらの事業への取組をアピールし、企業、団体や個人から財団運営に対する支援に結びつける取組を進める。

2 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

びわ湖ホールでは、これまでの実績を踏まえ、2025 年度は「挑戦」の気概をもって我が国の舞台芸術の水準の向上に貢献し、「トップレベルの劇場を目指す」という視点と、誰もが気軽に訪れることができる「親しみやすい劇場を目指す」という双方の視点に立ち、バランス良く自主事業を展開する。皆様に「ここに劇場があって良かった」と思っただけのよう、国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来場いただけることを目指す。

びわ湖ホールにおいて「創造活動の核」として設置しているびわ湖ホール声楽アンサ

ンブルを中心とした自主事業の制作をはじめ、歌劇、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等の多彩なジャンルの公演を行うほか、人材育成やアウトリーチなど舞台芸術の普及に資する活動、地域の賑わいの創出につなげる取組など、幅広い方々に親しみと関心を持ってもらえる事業を展開する。

また、積極的な事業展開を行い、公益財団法人のメリットを最大限PRすることにより、寄付や企業協賛・オフィシャルスポンサー等、自主財源確保により一層努めていく。また、地域の団体・企業との連携強化や、次代を担う青少年が質の高い舞台芸術を体験し、びわ湖ホールをより身近に感じてもらう取組を進めるなど、県民の皆様に興味と関心を持っていただく効果的な広報を行い、繰り返しご来場いただけるよう魅力ある情報の発信に努める。

また、大・中・小ホールの特性を生かした貸館利用の促進、近隣事業所からの利用促進施策等を展開するなど、駐車場利用の拡大を進めるとともに、省エネ化、施設・設備管理の効率化、利用者視点に立ったアクセシビリティの向上を図り、人にやさしく持続可能な施設管理に努める。

2025年度は、中期経営計画および第4期指定管理業務の最終年度であり、各計画等の目標を達成することに努めていくとともに、計画する各事業を着実に進め、びわ湖ホールのプレゼンスを更に高め、国内外においてトップレベルの劇場となる取組みを進めていく。

3 滋賀県立文化産業交流会館

滋賀県北部の芸術文化活動の拠点として文化産業交流会館は、湖北地域の豊かな自然や歴史、文化のもとで、引き続き多様な分野との連携に努め、施設の機能を活かした魅力ある舞台芸術を幅広い世代の方に伝えていく。

2025年度は、「2025年大阪・関西万博」の開催年にあたることから、長栄座「湖北百景」では余呉の羽衣伝説をテーマにして、日本を代表する古典芸能である「能」を国内外に発信する。また、秋に滋賀県で開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の大会スローガン「湖国の感動 未来へつなぐ」のもと、子どもや青少年が、湖北地域の文化資源を題材にした「邦楽ミュージカル」を演じる。さらに、同大会の文化プログラムに芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバルが参加するなど、大会の開催機運が高まる取組みに努める。

イベントホールでは、多目的に使える機能を活かして、芝居小屋「長栄座」での「夏のフェスティバル」、ベビーカーのままでも入場できる「0歳児からのコンサート」、マーチングバンドの祭典「フィールドアート」、そして新たに、パフォーマーと演奏家とで繰り広げるサーカスショーなど、当館の独自性を発揮した企画を実施する。また、県内の学校・団体と連携しながら中学校・高等学校の生徒を対象に、連携協力・協定を締結しているプロの吹奏楽団による初心者向けクリニックと演奏会をセットで開催するなど、県北部の音楽文化の普及・振興を図る。

小劇場では、滋賀県ゆかりの新進アーティストのコンサートや第一線で活躍するアーティストのリサイタルを開くとともに、びわ湖ホールとも連携協力して声楽アンサンブルの演奏を楽しんでいただく。また、県の「北の近江振興プロジェクト」の一環として、

当館の滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」を活用し、古典芸能を通して北部地域の魅力を発信する。

また、産業分野をはじめ多様な分野と芸術文化を通じた情報交換会や、「長栄座」事業に併せて伝統的工芸品や特産品等の展示・販売を行う。また、公益財団法人平和堂財団から滋賀県ゆかりの若手演奏家を育成する音楽事業を引き続き受託し制作する。

また、会館経営においては、国、公益法人、民間等の補助金、協賛金や文化基金の獲得とともに、新幹線米原駅から徒歩7分に立地する利便性の高い多目的施設であることをさらに周知し、自主事業の集客を図るとともにイベントホールや会議室等の様々な貸館利用を促進し、施設の稼働率と収入の向上に努める。

さらに、施設運営においては、どなたでも気軽に足を運んでいただける雰囲気づくりや環境整備に引き続き努め、常に社会や地域に開かれた湖北地域における芸術文化活動を振興する拠点となる取組を進めていく。

II 事業計画の概要

1. 法人本部

(1) 自主事業

県内文化ホールと連携しながら、文化芸術事業の情報共有や事業企画等のスキルアップを図る。また、**NPO** や企業、個人など地域の文化芸術の担い手と協働し、文化芸術と地域をつなぎ、誰もが身近に文化芸術に触れられる機会を提供する。

ア. 地域連携

県内文化ホールをはじめ、文化芸術活動者・文化団体と協働連携し、県域でのネットワークの構築や、アートと地域のつなぎ手となる人材の支援、地域の文化拠点として文化ホールがより幅広い役割を担うことを目的に「アートコラボレーション事業」に取り組む。

イ. 文化団体等との協働

文化団体等と協働して地域のアート活動を支え、地域の活性化を目指す「アート活動支援事業」を実施する。

また、滋賀県と共催で「障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業」を実施する。

ウ. 公演制作

地域に出かけ、芸術（アート）を通して知と感性を刺激し合うような出会いや交流を生み出すことを目的にアートプロジェクト「びわ湖・アーティスト・みんぐる」を文化・経済フォーラム滋賀と共催で実施する。

エ. 人材育成

県内の文化ホールがより多様な人の集う場となることを目的に、地域のアートコーディネーターの立案でリサーチ・パイロット事業を行う「アートと地域のためのスマールトーク・プロジェクト」のほか、文化芸術の担い手の育成と支援、新たな発表場所の発掘を目的に「アートと地域のためのパフォーマンス・プロジェクト」を実施し、地域の文化芸術振興とホールの活用を図る。

オ. 情報発信

総合文化誌『湖国と文化』を編集・発行し、本県の歴史、風土、自然、文化芸術など、滋賀の多彩な魅力を県内外に発信するほか、県内の文化ホール等と協働して、県内全域での広報活動を行う。

(2) 受託事業

ア. 滋賀県芸術文化祭

滋賀県芸術文化祭実行委員会を組織し事務局運営を担い、県民の皆様の文化芸術創作活動における発表の場として、美術、写真、文芸の3つの公募展を開催し、作品を身

近に鑑賞できる機会を提供する。

また、多くの県民の皆様に滋賀県芸術文化祭にご参加いただくため、参加事業の募集を行う。

イ. 県内文化情報提供事業

(ア) 湖国文化情報 『れいかる』 編集・発行

県内各地の文化施設で行われる各種文化活動を紹介する湖国文化情報『れいかる』を編集・発行し、県民の皆様への情報提供を通して、文化活動の一層の活性化を図る。

(イ) 総合文化誌 『湖国と文化』 提供

財団が編集・発行した総合文化誌『湖国と文化』を県内外の図書館や教育機関等へ配本し、湖国の文化の魅力を発信する。

(3) 独自事業

文化・経済フォーラム滋賀

文化団体、芸術家、企業、学術、行政等、多様な分野で活躍する者や団体で組織するフォーラムの事務局運営を担い、各分野を超えた交流や「文化で滋賀を元気に！」する事業を推進し、本県の文化と経済の連携による地域の活性化を目指す。

(4) 広報営業活動

びわ湖ホールや文化産業交流会館と連携を図りながら、各種事業チラシの配布、SNSでの配信をはじめ、ホームページによる広報やチケット販売等を行う。また、びわ湖ホールの広報ネットワークも活用しながら、新聞社や放送局への効果的なプレスリリースに努める。

「アートコラボレーション事業」等、県内の文化ホールと協働で展開する事業のチケットについても当財団ホームページ上のチケット販売システムを活用し、販売を促進する。

また、『湖国と文化』のインターネット販売や「びわ湖ホール友の会」の会員特典に盛り込むことで、新たな購読者を開拓するなど、びわ湖ホール、文化産業交流会館および地域創造部を一体的にとらえ、それぞれが発行する広報媒体を有効活用し、それぞれの営業機会を相互に利用する効果的な営業活動を行う。

2 びわ湖ホール

(1) 自主事業

ア. 令和7年度(2025年度)自主事業

国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来場いただけることを目指す。

びわ湖ホールの「創造活動の核」として設置しているびわ湖ホール声楽アンサンブルを中心とした自主事業の制作をはじめ、歌劇、音楽、演劇、舞踊等の多彩なジャンルにわたって、質が高く特色ある事業を厳選して実施する。

また、地域の団体・企業との連携強化や、次代を担う青少年が質の高い舞台芸術を体験し、びわ湖ホールをより身近に感じてもらう取組を進める。

さらに2025年度は、日本国際博覧会(2025年大阪・関西万博)や国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、本県や関西圏への注目が高まることから、これからの好機を生かし、更なるびわ湖ホールの発展が遂げられるよう、関係機関等とも連携し事業を進める。

インバウンドの増加を踏まえ、英語字幕を掲出するオペラ公演を設けるなど、外国人の来場促進への取り組みも進める。

(ア) オペラ等

日本最高水準の力を結集して上演する「プロデュースオペラ」や、青少年や初心者に向けた入門的役割も果たす「オペラへの招待」シリーズ等で優れた作品を上演する。

- ・「プロデュースオペラ」は、プッチーニ作曲 歌劇『トゥーランドット』を、シリーズで初めて公募オーディションにより選出したキャストとともにお届けする。また、合唱も一般公募し、プロデュースオペラを華々しく上演する。
- ・「オペラへの招待」シリーズでは、7月にレハール作曲『メリー・ウィドウ』を芸術監督 阪 哲朗の指揮により上演するとともに、1月にキンポー・イシイを指揮に迎え、モーツァルト作曲『劇場支配人』とレオンカヴァッロ作曲『道化師』の2本立て(ダブルビル)公演を声楽アンサンブルがお贈りする。本シリーズでは、それぞれ4公演を行い、お求めやすい入場料と本格的な公演レベルの両立で、老若男女を問わず新たなファン開拓に努める。

(イ) オーケストラ

- ・1年を締めくくる特別な日を最高の音楽に包まれて過ごすコンサートとして定着している「ジルヴェスター・コンサート2025」を、阪の指揮のもと、久末 航をソリストに迎え開催する。(2020年度より昼間開催)
- ・沼尻竜典と京都市交響楽団による、マーラーシリーズ(vol.6)を引き続き開催する。
- ・「名曲コンサート」では、誰もが知る有名な交響曲等を日本センチュリー交響楽団の演奏でお楽しみいただく。
- ・青少年・初心者向けのコンサートとして定評のある関西フィルハーモニー管弦楽団による「子どものための管弦楽教室」を開催する。

(ウ) 室内楽・声楽・その他音楽公演等

- ・声楽アンサンブルの定期公演では、**21**年ぶりに阪芸術監督が登場する第**81**回定期と、世界で活躍したソプラノの林 康子を監修に迎える第**82**回定期の2公演を行う。また、第**81**回定期は、同じプログラムを東京文化会館（東京公演）でもお届けする。
- ・**2024**年年9月に逝去されたびわ湖ホール声楽アンサンブル名誉指揮者の田中信昭氏を悼み、ソロ登録メンバーも加えた声楽アンサンブルによる公演を大ホールで行う。
- ・幅広い世代に広く親しんでいただけるよう、**2020**年に開始した声楽アンサンブルによる、童謡や唱歌、昭和・平成の名曲で綴る「美しい日本の歌」コンサートを引き続き実施する(vol.6)。
- ・「特別コンサート」では、県においてオーストリアと交流・協力が進められていることから、大阪・関西万博により来日するウィーン少年合唱団の公演を行う。また、イタリアのテノール歌手 ルチアーノ・ガンチ、日本のヴァイオリン界を牽引してきた前橋汀子、世界でも有数の実力派ヴァイオリニストのイザベル・ファウストによる公演をお届けする。
- ・多彩なジャンル・楽器の演奏を楽しんでいただく「大人の楽しみ方」シリーズは、大・中ホールで4公演を行う。小曾根真の呼びかけで結成したビッグ・バンド「**No Name Horses**」が結成**20**周年ツアーとして**15**年ぶりに登場するほか、ジャズ・ピアニスト山中千尋によるトリオ、小松亮太率いるバンドネオンカルテット、スウェーデン伝統音楽で北欧の夏至祭を贈るヴェスタノーなど、様々なジャンルの公演を開催する。
- ・上質な音楽を小ホールという親密な空間でお楽しみいただく「びわ湖の午後」シリーズでは、ファリャ生誕**150**年を記念したスペインプログラムの川口成彦（ピアノ）、**2023**年度に中止となった池田香織（メゾソプラノ）のリサイタルや山根一仁（ヴァイオリン）と小林道夫（チェンバロ）によるデュオリサイタルを開催する。
- ・若杉初代芸術監督が愛用されたピアノを活用した“ピノ”シリーズは、ウィーン国立歌劇場オペラ研修所等欧州各地で活躍した三ッ石潤司による新章をお贈りする。
- ・「明るい歌声で皆さんを元気に」をモットーに活動する、びわ湖ホール四大テノールによる公演を**2024**年度に引き続き、2日間お届けする。
- ・「気軽にクラシック」は、チケット価格を**1,100**円、公演時間も1時間程度と短く設定し、より気軽にお楽しみいただけるシリーズとして、2公演実施する。
- ・ヴァイオリニスト石田泰尚が率いる「石田組」による弦楽アンサンブル、上野耕平（サクソ）、三浦一馬（バンドネオン）、山中惇史（ピアノ）の若手実力派アーティスト**3**人によるトリオ・コンサート、これからの活躍にさらに期待が集まるピアニストの小林愛実による名曲コンサート、葵トリオやクアルテット・エクセルシオが登場する室内楽への招待など、年間を通じて幅広いニーズに合わせた、多彩な公演を行う。

(エ) ダンス・バレエ

- ・ダンスでは、ベルギーのダンスカンパニー「ピーピング・トム」による公演を8年ぶりに行うとともに、国内外で高い評価を受け続けている舞踏カンパニー・山海塾の公演を行う。

- ・バレエでは、共催事業として、東京バレエ団による「眠れる森の美女」をお届けする。

(オ) 演劇・伝統芸能

- ・人間ドラマを通して日本社会や時代の様相を描いてきた劇作家・演出家の永井愛率いる二兎社による演劇公演を行う。
- ・伝統芸能では、開館以来毎年登場している野村万作・野村萬斎狂言公演を実施する。

(カ) フェスティバル等

- ・芸術監督 阪 哲朗プロデュースによる「びわ湖の春 音楽祭」を4月末に2日間に渡って開催する。
- ・芸術監督の阪 哲朗が指揮し、声楽アンサンブルと合唱に取り組む高校生との共演も計画しており、次世代の育成や舞台芸術の振興につなげる。
- ・県内各地で4～5月に行われる音楽祭関連企画と連携して音楽祭全体を盛り上げ、地域の活性化にもつなげる。

(キ) 普及事業

- ・県や県教育委員会と連携し、次代を担う青少年が舞台芸術に触れる機会を創出するため、「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」(「ホールの子」事業)を6日間計12公演開催する。また、「ホールの子」事業を広く一般にも鑑賞いただけるよう、引き続き同じプログラムによる有料公演も実施する。
- ・地域の劇場、県内市町教育委員会や県教育委員会と連携して県内ホール、小学校を会場として、オペラ『泣いた赤おに』を上演する。また、独立行政法人日本芸術文化振興会の委託を受け、びわ湖ホール声楽アンサンブルが実演団体として、引き続き全国の小学校・中学校等において巡回公演を行う。
- ・体育館で本格的な音楽公演を行う「学校巡回公演」、音楽の授業でミニコンサートや歌唱指導を行う「ふれあい音楽教室」を小中学校へ出向き実施する。
- ・芸術監督の阪が講師を務め、指揮者やコレペティトウアを目指す若手音楽家を指導する「阪 哲朗オペラセミナーⅢ」や、世界を舞台に活躍したソプラノ歌手 林 康子を講師に迎え、声楽アンサンブルを指導する「林 康子 声楽曲研修」を公開で行うなど、次世代を担う人材の育成にも努める。
- ・2024年度から実施する「びわ湖ホールピアノコンクール」を引き続き開催し、才能ある音楽家(ピアニスト)を発掘し、演奏機会の創出につなげる。
- ・一般公募により選ばれた出演者によるコンサート「アンサンブルの楽しみ」を継続して開催する。
- ・青少年にびわ湖ホールの舞台に立つ機会を提供するため、一般公募で選ばれた音楽やダンス、芝居など様々なジャンルの出演者(24歳以下)によるステージをお贈りする。
- ・協定を締結する大学と連携し、メインロビーを活用したパフォーマンスイベントを開催する。
- ・メインロビーを活用した入場料無料のロビーコンサートを開催し、ホールの賑わい

創出を図る。

- ・劇場を訪れにくい人にも舞台芸術に触れられる機会を提供するため、医療・福祉施設における「ホスピタルコンサート」などを実施する。
- ・公演に関連したワークショップ、セミナー・講座などの開催や、音楽に関心を持ってもらうための子ども向け企画、バックステージツアーなどを行い、舞台芸術の普及・振興に努める。

(ク) 誰もが鑑賞しやすい環境づくり

障害のある方や子育て中の方など様々な事情を抱える方にも来場いただけるよう、車椅子席の設置、ヒアリンググループの運用、字幕の掲出、託児サービスの実施など、引き続き誰もが鑑賞しやすい環境づくりに努める。

イ. 次年度以降自主事業準備

2026年度に開催する自主事業公演の事前準備を実施するとともに、2027年度以降の自主事業実施に向けて、公演調査や事前交渉を行う。

ウ. 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホールの創造活動の核として設置している「びわ湖ホール声楽アンサンブル」は、定期公演をはじめ、「オペラへの招待」シリーズなどの自主制作オペラ公演、「美しい日本の歌」公演などの自主公演に出演する。

また、小中学校へ出向いての「学校巡回公演」や「ふれあい音楽教室」、県内各地域の文化ホールや教育機関と連携して実施する「県内巡回オペラ」、県内の児童を対象にしたオーケストラ公演「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」などの普及事業でもその中心となって活動を展開し、子どもたちをはじめ、県民の皆様が舞台芸術に触れる機会を創出する。さらに依頼公演にも積極的に取り組むなど、県内外で幅広い活動を展開する。

70名を超えたソロ登録メンバーも含め、今後もメンバーの育成、舞台芸術の普及・振興と、県内外で幅広い活動を展開していく。

エ. ネットワークの形成

県の公立文化施設協議会の会長館として、県内公立文化施設のネットワーク形成と職員の能力向上のため、引き続き館長会議やびわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネジメント研修等を実施する。これまでも障害者に目を向けたテーマによる研修を実施しているが、2024年度から障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されることから加盟館への周知および関連する事業計画の実施に努める。

(2) 広報営業活動等

情報発信とチケットの販売促進を図るため、Webサイト・SNS・メールマガジン等インターネットを使用した幅広いPR活動のほか、多様なパブリシティ活動、情報誌の発行、新聞・雑誌・電波・交通等による広告を行う。また、びわ湖ホール友の

会の入会促進や、より魅力的な特典のある会員区分への誘引、舞台芸術基金の周知に努め、幅広く寄付を呼びかけるとともに、併せて文化産業交流会館の事業に協賛等を募るなど、協賛支援の確保やコンベンション等の貸館利用についての営業活動を展開する。劇場サポーター、シアターメイツをはじめ、地域のつながりや地元企業の協力を得て、チラシや情報誌の配架に努めるなど、人と人とのネットワークづくりを生かした広報活動を行う。

ア. 広報営業

びわ湖ホール声楽アンサンブルの活動、自主事業、普及事業等に関する情報が記事やニュースで取り上げられるようマスコミ等へ効果的な情報提供を行うとともに、リレーションを構築する。

ホームページの充実を図り、メールマガジン、SNS等による公演情報等の発信、舞台芸術情報誌「湖響」(年4回)、公演チケット情報誌「Stage」(毎月)を発行する。

また、想定される購買層やチケットの販売状況を勘案し、顧客の動向に即した広告宣伝(新聞・雑誌・ウェブサイト・電波・SNS・交通広告等)を行う。

さらに、オフィシャルスポンサー制度をはじめとする企業団体等の協賛制度の周知・利用を積極的に進め、びわ湖ホールのファンを増やし、チケット販売、友の会会員、寄付者等の増加につなげるために、地域の企業、経済団体、関係施設・団体等との交流を深めるとともに、各会員との良好な関係継続に努める。友の会の特別会員・サポート会員については、そのメリットを積極的にPRし、個人・企業を問わず広く加入を勧める。

地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえ、会員招待対象の公演を幅広く設定するなど、顧客らがメリット感を得やすいよう工夫する。また、広報媒体や営業の機会を相互に有効活用するなど、財団としてのメリットを最大限生かした営業活動を行う。

イ. チケット販売

友の会会員への優先発売や委託販売先ウェブサイトとの連携を行うとともに、組織販売やこれまで蓄積した顧客リスト、アンケート結果の整理・分析を進めることで、チケットの効果的な販売活動につなげ、顧客の拡大に努める。オペラ公演等のネット販売においては、英語によるチケット購入ページを作成し、海外誘客にも取り組む。

さらに、企画商品の開発や旅行会社・ホテル等とのタイアップ企画等を通じた販売にも積極的に取り組み、新たな顧客層の開拓に努める。

また、2022年度末にリニューアルしたチケットシステムを活用し、電子チケットの導入検討など、さらなる利便性の向上と、安定したシステムの稼働の継続に努める。

ウ. ホームページの運用

2021 年度にリニューアルしたホームページの内容を充実させ、常に最新の情報を提供することにより顧客の利便性やアクセス環境の向上を図る。特に公演ページでは、トピックスやメディアでの紹介記事、出演者からのコメント、公演写真や YouTube 動画を掲載する。また、「びわ湖の春 音楽祭」は、特設ウェブサイトを構築し、音楽祭に興味を持ってもらえるよう、公演内容やコラム等を紹介する。また、SNS を積極的に活用し、身近な情報を頻繁に発信することで、ホールの取組に関心が高まるように働きかけるとともに、ウェブサイトへ誘導し、ホールへの来場およびチケットの購買行動に結びつきやすくなる工夫を凝らす。

さらに、ホームページへのアクセス数や動向を分析することにより、広告の打ち方やデザインのあり方を改善し、訪問者数のアップを目指す。

エ. 友の会運営

顧客の拡大・定着、チケット販売等の営業活動の促進、将来的な制度見直し検討など、支援者の拡大の手法についての検討を行う。

また、機会をとらえて会員特典を詳しく説明することにより、サポート会員、特別会員への加入率を高め、チケット販売促進に結びつける。

さらに、地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえて会員特典を設定し、友の会会員の満足度や利便性の向上に努める。

オ. 人と人とのネットワークづくり

(ア) 劇場サポーター運営

人のネットワークによる観客創造を目的とした「劇場サポーター」制度については、講座や交流会を実施するなど充実した運営を行い、積極的な公演の鑑賞を勧めることで、舞台芸術の普及を図るとともに、サポーターとホールとの関係強化に努める。

(イ) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高め、観客層の裾野を広げるため、引き続き「シアターメイツ」会員を募集し、対象公演のチケットの割引販売、稽古見学会等を実施する。

また、シアターメイツ特別顧問キャラクター「にゃんばら先生」を活用した PR 活動を行う。

(ウ) 館内見学ツアー等

びわ湖ホールや舞台芸術への興味、関心を高め、観客創造に資するため、好評の「まるっとステージツアー」を引き続き実施するほか、舞台芸術に関する雑誌、図書、CD、映像ソフト等を備えた舞台芸術情報サロンの運営やホールグッズの販売等を行う。

さらに、自主公演時の託児サービス等を実施するなど、来館者サービスの充実に

努める。

カ．びわ湖ホール舞台芸術基金の周知と活用

びわ湖ホール舞台芸術基金の周知に努めるとともに、遺贈の受け入れを含め寄付拡大に努める。また、寄付を活用した事業展開を図る。

(3) 施設の提供

大・中・小の各ホールのほか、リハーサル室、練習室、研修室およびホワイエについても活用促進を図り、質の高い舞台表現に触れる場、県民の文化活動をより高いレベルで表現できる場、滋賀を訪れる方に本県の豊かな文化資源を体感していただける場として、幅広い方にご利用いただき、主催者にも来場者にも「ここに劇場があってよかった」と思っただけの満足度の高い施設運営を行う。

貸館での利用に加えて、自主事業や施設・設備の保守点検等が立て込み、主催者との打ち合わせや下見対応の時間の確保に苦慮する状況となっていることから、部署間や施工業者等との調整を密にして効率的な運営に努め、貸館可能日の確保を図る。

M I C E利用に対しては、劇場としての施設特性を丁寧に説明して理解を得ることを心掛け、関連機関との連携・協力のもと、主催者の思いに応えられるよう努める。

また、今後予定される大規模改修工事について、県と連携して利用者に丁寧に説明し、改修後の利用再開へつながるよう努める。

(4) 管理運営

施設の管理を適正、適切に行うことで、日々の安全な運用ができ、長寿命化にも資するよう努める。

また、施設・設備の老朽化、物価や人件費の高騰が進む一方で、利用者のニーズは多様化しており、効率性や持続可能性を重視した施設改修の提案と、安全・安心な施設管理に努める。

なお、県の長寿命化等推進整備事業として、長期保全計画に基づき改修工事を行うとともに、これまでの施設管理のノウハウを活かして、大規模改修がスムーズに実施できるようサポートする。

ア．ホール管理運営

施設の維持管理を適正に行うとともに、公演開催に伴うチケット販売業務、総合案内業務、舞台技術業務およびレセプション業務等について、びわ湖ホールにふさわしい質の高いサービスを提供する。

災害時の緊急対応について、「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよびびわ湖ホール駐車場災害時の緊急対応要領」をホール職員に徹底、防災訓練を実施し、非常時の対応に備える。

また、日常の施設・設備管理で危険箇所が発見された場合は、速やかな改修に努める。

イ. 舞台技術運営

(ア) 舞台設備および備品管理運営

舞台設備の日常点検および管理を適正に行うとともに、施設利用者の使いやすい環境を提供する。

(イ) 技術的専門性の向上

びわ湖ホールの機能を十分に活用し、創造性を発揮した舞台技術が発揮できるよう高度な技術力の確保に努める。また、他の劇場との情報交換や調査研究を通して、技術的専門性の向上を目指す。

(ウ) 舞台監督、プランナーの活用

自主事業では舞台監督、プランナー、チーフオペレーターなどを職員で担当し、事業費の削減に努める。貸館事業では要望があれば舞台監督、プランナーを担当し、オペレーターの増員はできるだけ職員を配置することで増収に努める。

(エ) 人材育成

協定を締結する大学と連携して、メインロビーを活用したパフォーマンスイベントを開催し、舞台制作の一端を大学生に体験してもらうことで、「次代を担う人材の育成」につなげる。

また、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の趣旨に沿った取り組みとして、職員の資質の向上を図る。また、公共劇場舞台技術者連絡会や全国公立文化施設協議会との連携を深め、専門性の向上に努める。

(オ) 安全管理

「びわ湖ホール劇場技術運営マニュアル」に則り、舞台の安全な管理運営に努める。

ウ. 駐車場管理運営

駐車場の維持管理を適正に行うとともに、ホール来館者をはじめ、近隣事業所の関係者や地域住民など、より多くの方々が利用しやすい運営を行う。

24時間入出庫可能をさらにPRして定期券利用の促進に努めるとともに、管理業務委託会社および県と連携し、駐車場利用の促進と利用者サービスの向上を目的に、最大料金設定等の新しいサービスの導入に向けた検討を進める。

3 滋賀県立文化産業交流会館

(1) 自主事業

ア. 令和7年度自主事業

滋賀県文化振興基本方針（第3次）の基本目標を実現するため、滋賀県障害者文化芸術活動推進計画（第2次）も踏まえ、当財団の中期経営計画（令和3年度～令和7年度）に基づき、次の7つの目標に向かってびわ湖ホールと連携のもと各種事業に取り組む。

(ア) 古典芸能を次世代に

「長栄座」事業は、片山九郎右衛門師と滋賀県ゆかりの能楽師を迎え、質が高く親しみやすい古典芸能の自主制作公演を目指す。併せて古典芸能の理解や興味を深めていただくための講座を行う。

令和7年度で15年目を迎える芝居小屋「長栄座」をイベントホール内に設営し、「夏のフェスティバル」を開催する。幕開けは、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる「美しい日本の歌」米原公演、2日目は子どもたちに伝承遊びや昔遊びの体験、3日目は藤原道山（尺八）と片岡リサ（箏）による演奏会、最終日には、自主制作公演「湖北百景ー羽衣舞う余呉」を開催し、日本の文化を次世代に伝える。

(イ) 子ども・青少年の健全な育成のために

子どもたちに古典芸能に興味を持ってもらうための「古典芸能キッズワークショップ（箏・日本舞踊）」を実施し、修了後は、「箏曲ジュニア・アンサンブル」「中学生高校生のための日本舞踊教室」（びわこ文化センター）に進み、ステップアップを図る。なお、箏の指導は、当館と連携・協力協定を締結している大阪音楽大学の教授や出身者が担う。

子どもや青少年が、お互いを認め合いコミュニケーション能力を身につけながら舞台創作活動に参加する「ユースシアター事業」では、健全な育成と文化芸術への関心とともに、地域の魅力を知り愛着や誇りを感じる心を醸成する。また、邦楽の演奏家を県内の小・中学校へ派遣する「和のじかん」を実施し、邦楽器による演奏や体験を通して、古典芸能を身近に感じてもらう機会とする。

さらに、令和5年度に連携・協力協定を締結した「シエナ・ウインド・オーケストラ」（一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ）による、中学校・高等学校の生徒等を対象とした、楽器の取り扱いなどを初歩から学ぶクリニックと演奏会を開催し、青少年の音楽活動への意欲を高める。

(ウ) 新進アーティストの飛躍のために

「邦楽専門実演家養成事業」は、邦楽の実演家としての資質を高め、修了後は、当館の滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」のメンバーとして、当館および地域で演奏や体験活動を行い、古典芸能の魅力を伝えていく。また、県から受託する「北の近江振興プロジェクト」とも連携して事業内容の充実を図り、より高い水準の邦楽演奏家の輩出を目指す。

「びわ湖ミュージックフォレスト」は、平和堂財団から受託する次世代音楽事業「鳩の音楽会」「芸術奨励賞（音楽部門）」「びわ湖ミュージックハーベスト」とともに、世界に向けて挑戦する滋賀県ゆかりのアーティストを育成・支援する。なお、平和堂財団の受託事業は、引き続きしがぎん経済文化センターとの協働により内容の充実を図り、その成果を当館事業に活かしていく。

(エ) 文化芸術による共生社会実現のために

イベントホールの特徴を活かしながら障害の有無にかかわらず、鑑賞マナーを緩和し、誰もが楽しんでいただけるオーケストラによる「0歳児からのコンサート」や、小さな子どもから外国の方まで楽しんでいただける言葉を使わないサーカスショーを実施する。また、「邦楽ミュージカル」では、試験的にヒアリンググループ席やカームダウンスペースを設けるなど、障害のある方にも多彩な文化芸術に親しめる環境整備に努める。

(オ) 2館の連携による相乗効果

びわ湖ホール声楽アンサンブルが出演する「びわ湖の春 音楽祭」、芝居小屋「長栄座」での「美しい日本の歌」米原公演を開催し、県北部地域での顧客創出を図り、びわ湖ホールへの関心も高めていただく。また、当館で出演するアーティストの公演をびわ湖ホールにおいて開催するなどの連携も引き続き行い、広く紹介していく。

(カ) 施設の特徴を活かした多様な舞台芸術を恒常的に

舞台芸術公演の実施にあたっては、古典芸能、クラシック音楽に加えて、ポピュラー音楽コンサート等、他の分野も充実させることで多様なニーズに応えられるラインアップとする。

イベントホールでは、可動式椅子の特性や移動式音響反射板を活用し、客席の半面を舞台のアクティビティエリアとして使用するマーチングバンドの祭典「フィールドアート」、子どもや青少年が出演する「邦楽ミュージカル」、吹奏楽のクリニックと演奏会などを開催する。また、「長栄座」事業やポピュラー音楽コンサートに加え、新たにサーカスショーを開催し、多彩なジャンルの企画をバランスよく計画し、幅広い年齢層が楽しめるようバリエーションを拡充する。

小劇場では、滋賀県にゆかりがあり、今後の活躍が期待される若手や第一線で活躍するアーティストによる室内楽のコンサートや、小学生から実演家までの古典芸能事業の発表会や演奏会を開く。また、文化講座（びわこ文化センター）では、子どもから高齢者までを対象とした各種講座を他の会館事業とも連携して開講する。

(キ) 産業分野との連携

産業分野をはじめ多様な分野と芸術文化を通じた地域振興について考える「ビジネス・カフェ in 文化産業交流会館」を開催する。また、芝居小屋「長栄座」で

の「夏のフェスティバル」に併せて、県関係課や湖北地域の観光協会等の協力を得て、「近江のあたらしい伝統産業展」を実施する。

(2) 広報

ア. 広報営業活動

情報誌「湖響」(年4回)への記事掲載や中日新聞、京都新聞への寄稿、自治体広報紙、ホームページおよびSNSによる情報発信、福井県、岐阜県エリアを含む新聞・放送局への資料提供や、事業協力名義等を得てテレビ・ラジオ、雑誌・情報誌等による広報を行う。

また、びわ湖ホール友の会会員特典の招待公演として、当館公演も組み入れるなど、びわ湖ホール、地域創造部を一体的にとらえ、それぞれの営業機会を相互に活用しながら効果的な営業活動を行う。

さらに、近隣の商業施設や自治会等に毎月、事業案内を行うとともに、引き続きダイレクトメールの送付やメールマガジンを配信する。

イ. チケット販売

インターネットによるチケット販売をはじめ、団体販売やこれまでに蓄積した顧客リスト等を活用しながら、効果的な販売活動を行い、入場料収入の増加や顧客の拡大に努める。

また、びわ湖ホールチケットセンターでの販売、専用のチラシラックの設置、ダイレクトメールの一括発送、公演時のチラシ挟み込み等を2館で協力しながら、チケットの販売促進に努める。

ウ. アートフレンド (Eメール会員)

インターネットによるチケット販売や公演アンケート等でメールでの情報提供を許可いただいた方へ、定期的にチケット販売や公演についてのトピックスを配信する。

エ. 施設利用促進

イベントホールの音響設備、小劇場の照明・音響設備、会議室、練習室等の改修・改装、備品を整備したことなどをPRするとともに、親しみやすい会館パンフレットを作成し、新規顧客の開拓やリピーターの確保等、施設の利用促進を図る。

(3) 施設の提供

多様な方々が利用する公共施設としてバリアフリー・ユニバーサルデザインの視点に立ち、利用者の安全確保を最優先として、人に優しく環境に配慮した効率的な管理運営を行う。また、ロビー周りの文化施設としての雰囲気づくりにも努める。

また、開館して38年目を迎え施設が老朽化する中、計画的な改修が行われるよう県に引き続き要望していく。

(4) 管理運営

効率的な施設運営に努めるとともに、法令に基づいた適正で安全な管理と良質なサービスの提供を行う。また、利用団体や貸館利用者へのアンケートによる満足度調査、ご意見箱の設置、さらに対話により、利用者の意見・要望を把握し、業務改善に努める。

ア. 会館管理運営

受付や窓口業務等接遇においては、公平で丁寧な対応に努めるとともに、障害のある方もどなたに対しても合理的配慮を提供できるように努める。

また、舞台技術、施設管理面で経験豊かな人材を配置し、文化施設としての機能はもとより産業展示等にも対応したフレキシブルな管理と技術提供を行う。利用者には、技術的側面から催事の進行を支援し、要望に応じた細やかな舞台技術を提供する。

災害発生時または発生の恐れがある場合には、防災体制をとり、関係機関への情報提供と協力依頼を行い、利用者の安全確保に努める。なお、消防訓練は、年2回実施し、消防設備の取り扱いや通報、避難誘導が的確に実施できるよう職員教育を行う。

イ. 人材育成

職員の意識改革と資質の向上を図ることを目的に、びわ湖ホールと連携しながら職場研修、自己啓発研修、職場外研修の3つの視点から職員研修を継続的かつ発展的に実施する。さらに、アートマネジメント研修や舞台技術研修、公益法人に関する実務研修、会計研修等に参加し、専門的知識の習得に努める。

令和7年（2025年）度自主事業等一覧

（法人本部地域創造部）

（1）自主事業

地域連携

●滋賀県アートコラボレーション事業 6月～2026年2月

県内の文化ホール、アートNPOや文化団体および文化芸術活動者と協働で事業を行う。「様々な分野の地域課題に対して創造的な取り組みを行う事業や異分野の担い手と協働する事業」、「子ども、次世代が文化芸術を体験する事業」「地域の文化資源を再評価し、価値を発信する事業」「地域で活動する文化芸術の担い手の活動が活性化する事業」等の目的に当てはまる事業を提案者から募集し、採択した事業を協働で行う。

①滋賀県アートコラボレーション事業 ホールプロデュース部門 6月～9月

県内文化ホールが、芸術文化活動を通して地域に貢献する人材が集まり、地域に開かれた場所として機能が発揮されることに要点を置いた自主企画事業に協働で取り組む。

（1）狂言であそぼ ～ひがしおうみ狂言・わくわく体験 2025～ 8月31日（日）

提案団体：公益財団法人東近江市地域振興事業団
会 場：東近江市てんびんの里文化学習センター

（2）びわ湖ニオーストリア・ブルックナー管弦楽団（BABO）

第2回演奏会 ブルブル・プロジェクト Vol.2

プレコンサート：6月14日（土） コンサート：9月7日（日）

提案団体：びわ湖ニオーストリア・ブルックナー管弦楽団
会 場：栗東芸術文化会館さきら 大ホール

（3）愛荘むら芝居「愛知川宿蝸牛庵」 9月7日（日）

提案団体：一般社団法人愛荘町文化協会
会 場：愛荘町立ハーティーセンター秦荘 大ホール

②滋賀県アートコラボレーション事業 6月～2026年2月 おうみアートコーディネーター部門

地域の活動者とともに、多様な場面で芸術文化を味わうことのできる鑑賞・体験事業や、芸術文化の創造性や魅力を教育・福祉・観光・産業等の分野に活用し発表する自主企画事業に協働で取り組む。協働事業を契機に、アートと地域のつなぎ手となる人材を「おうみアートコーディネーター」とし、個性豊かな芸術文化活動を各地で展開する。

（1）Bambino! 0歳からのパフォーミングアート

『Little Wonders IN SHIGA ～はじめての劇場～』 7月

提 案 者：千代その子
会 場：びわ湖ホール研修室（7/6（日））

旧大津公会堂 3F ホール (7/8(火)、11(金)、15(火)、22(火)、25(金))

(2) クルーズ船で巡る「琵琶湖周航和歌の旅」 **9月6日(土)**

提案団体：大津詩音研究所
会場：琵琶湖クルーズ船内 びわ湖湖上

(3) 観月舞台で楽しむ狂言と仲秋の名月 **10月25日(土)**

提案団体：一般社団法人文化農場
会場：三井寺・観月堂観月舞台

(4) 淡海奇譚芸術祭-Ōmi Creative Tales Arts Festival- (仮称) **10月26日(日)**

提案者：長谷佑美 (アトリエモルフェ)
会場：豊郷小学校旧校舎群

(5) 共生のまち演劇プロジェクト **冬頃**

提案団体：共生のまち演劇プロジェクト実行委員会
会場：未定

(6) CLOVER DREAM LIVE2025 (クローバードリームライブ 2025) **未定**

提案団体：NPO 法人四つ葉のクローバー マザーボード事業部
会場：未定

(7) The field glooming **通年**

提案者：中村心音
会場：ながらの座・座 (登録有形文化財 元・正蔵坊/大津市)

文化団体等との協働

●アート活動支援事業 **通年**

県内の文化芸術団体等と協働して地域のアート活動を支え、アートによる地域活性化を目指す。

(支援予定事業)

- ・けいおんストリート Live
- ・ルシオール アート キッズフェスティバル
- ・糸賀一雄記念賞音楽祭
- ・滋賀次世代文化芸術センター「連携授業・文化芸術体験プログラム」ほか

●障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業(共催) **通年**

誰もが文化芸術活動を楽しめる拠点や支援をする人たちが集う拠点となる「場」を、県内各地域に生み出すことを目的に、滋賀県が実施する本事業を共催し、市町の文化施設等におけるプログラムを企画・実施する。

公演制作

●びわ湖・アーティスト・みんぐる **未定**

“みんぐる”(mingle)とは交じり合うという意味で、地域に出かけ、芸術(アート)を通して知と感性を刺激し合うような出会いや交流を生み出すことを狙いとするアートプロジェクトを実施する。文化・経済フォーラム滋賀との共催事業。

① 音楽とアートでつづるおうみの民話 vol. 2

9月27日(土)

地域の特色ある文化芸術を培う取り組みとして、県内各地で語り継がれてきた民話の地域資源としての魅力と、教育的価値に注目し、音楽と美術のワークショップやコンサートを実施する。プログラムは、若手アーティストがチャレンジする場となるよう構成する。

会場：甲賀市碧水ホール

② C³ Current×Creation×Composition vol.3 ～伝統と創造の《^{かん}関

11月8日(土)

「弦楽四重奏×現代音楽」の切り口で新しい表現に挑戦するコンサートシリーズ。現代音楽界を牽引する旬の若手作曲家に、滋賀の風土や文化・伝統の魅力に触れて曲想を練ってもらい、作曲した弦楽四重奏曲を初演。この企画で生まれた「滋賀の曲」が、日本を代表する作曲家の作品として各地で広く演奏され、滋賀に還元されることを願い開催する。

会場：中川能舞台(長浜市)

人材育成

● アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト

4月～8月

県内の文化ホールが文化拠点としてより多様な人の集う場として機能することを目指し、地域のアートコーディネーターの立案でリサーチ・パイロット事業を行う。旧大津公会堂と愛荘町立ハーティーセンター秦荘の2か所で、令和6年度・7年度の2年に渡り実施する。

① アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト
(愛荘町立ハーティーセンター秦荘を拠点として実施)

4月～7月

令和6年度に実施したブラジル人住民を対象のホールへのニーズおよび日常的な文化芸術活動の実施状況を調査するアンケート調査などをもとに、外国人住民をターゲットにした企画を行う。

会場：愛荘町立ハーティーセンター秦荘

② アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト
(旧大津公会堂および大津地域のまちなかを拠点として実施)

4月～7月

多くの人々が日常の中で表現活動に触れる機会を増やすために、大津市内のまちなかで活動できる場所を探して公開する。

会場：旧大津公会堂および大津市内のまちなか

③ アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト報告会 7月27日(日)

本プロジェクトを実施したことで見えてきたこれからの文化ホール像・滋賀県のアートコーディネーター像について、また実施のプロセスや課題等について報告書を作成する。また、報告書の内容を発表する報告会を開催する。

会場：びわ湖ホール研修室およびオンライン

● アートと地域のためのパフォーマンス・プロジェクト
ヴォーリズ建築で奏でる音楽の調べ

6月～12月（予定）

若手演奏家の支援、発表場所の発掘を目的とし、赴任120年を迎えるヴォーリズが手がけた県内各地の建物でコンサートを開催する。

- ① 6月28日（土） 大津教会 出演者調整中
- ② 7月19日（土） 今津教会 出演者調整中
- ③④ 調整中

情報発信

● 総合文化誌『湖国と文化』の編集・発行

通年

昭和52年（1977年）に滋賀の魅力ある文化を発信する季刊誌として創刊。史跡や人物、自然、伝統行事、文化芸術など多彩な話題を満載している。県内主要書店を中心に、文化施設や観光施設、インターネットでも販売する。

発行日 季刊（7月1日、10月1日、1月1日、4月1日）
発行部数 1回 3,000冊

● 自主事業総合PR

通年

県内の文化ホール等と協働して、指定管理事業の県内全域での広報活動を行う。

（2）受託事業

● 第55回滋賀県芸術文化祭

8月30日（土）～2026年1月31日（土）（予定）

県民の皆様の文化芸術活動を広く紹介し、公演および創作発表を奨励するため、滋賀県芸術文化祭への参加事業を募る。また、県民の皆様の美術、写真、文芸の各分野の創作活動における発表および鑑賞の場として3つの公募展の開催および第55回滋賀県芸術文化祭のオープニングイベントを実施する。

① 芸術文化祭参加事業

② 主催事業（※会期・会場は予定）

第64回滋賀県写真展覧会 開催期間：9月14日（日）～21日（日）
会場：滋賀県立美術館 ギャラリー
第75回滋賀県文学祭 開催日：11月24日（月・休）
会場：滋賀県立文化産業交流会館
第79回滋賀県美術展覧会 開催期間：前期/工芸・書 12月4日（木）～9日（火）
後期/平面・立体 12月12日（金）～17日（水）
会場：滋賀県立美術館

③ 第55回滋賀県芸術文化祭オープニングイベント

開催日：8月30日（土）
会場：長浜文化芸術会館

●県内文化情報提供事業

通年

県内各地の文化施設等で行われる各種の文化情報や滋賀の歴史、風土、自然、文化芸術等の文化情報を発信する。

① 湖国文化情報『れいかる』編集・発行

県内で行われる各分野の文化芸術情報を県民の皆様にお届けする。

発行日 年5回発行（6月1日、8月1日、10月1日、12月1日、3月1日）

発行部数 1回 20,000部

② 総合文化誌『湖国と文化』提供

季刊誌として発刊する『湖国と文化』を県内外の図書館や教育機関等に配本し、滋賀の文化の魅力を発信する。

発行日 季刊（7月1日、10月1日、1月1日、4月1日）

配本数 1回 420冊

（3）独自事業

●文化・経済フォーラム滋賀

通年

「文化で滋賀を元気に！」を合言葉に文化・経済・学術・行政等の各分野の人たちの交流を目的に発足した「文化・経済フォーラム滋賀」の事務局を担い、文化と様々な分野が連携した創造的な活動が広がるよう各種事業を実施する。

事業：文化で滋賀を元気に！賞

文化ビジネス塾、文化経済サロン

講演会 ほか

令和7年(2025年)度 地域創造部 自主事業カレンダー

	地域連携(アートコラボレーション事業)	公演制作・人材育成・情報発信	受託事業・独自事業
4月		1(火)「湖国と文化」191・春号発行 アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト (旧大津公会堂、ハーティーセンター奏荘)	
5月			
6月	14(土)びわ湖ニオーストリア・ブルックナー管弦楽団 (BABO)プレコンサート(栗東芸術文化会館さくら)	28(土)アートと地域のためのパフォーマンスプロジェクト「ヴォーリス建築で奏でる音楽の調べ」① (大津教会)	1(日)「れいかる」7/8月号発行
7月	Bambino! 0才からのパフォーマンスアート『Little Wonders IN SHIGA』 ①6(日)トークイベント・ベイビシアターの可能性について with Ladda ②8(火)よちよちディスコパーティー ③11(金)ガムランコンサート ④15(火)・25(金)絵本パフォーマンス ⑤22(火)あかちゃんとわたしのダンスワークショップ (①はびわ湖ホール、②～⑤は旧大津公会堂)	1(火)「湖国と文化」192・夏号発行 19(土)アートと地域のためのパフォーマンスプロジェクト「ヴォーリス建築で奏でる音楽の調べ」② (今津教会) 27(日)アートと地域のためのスモールトークプロジェクト報告会(びわ湖ホール、オンライン)	文化・経済フォーラム滋賀「文化経済サロン」①
8月	31(日)狂言であそぼ～わくわく体験2025～(てんびんの里 文化学習センター)		1(金)「れいかる」9/10月号発行 30(土)滋賀県芸術文化祭オープニングイベント(長 浜文化芸術会館)
9月	6(土)クルーズ船で巡る「琵琶湖周航和歌の旅」(琵琶 湖クルーズ船内) 7(日)びわ湖ニオーストリア・ブルックナー管弦楽団 (BABO)第2回演奏会ブルブルプロジェクトVol.2(栗東芸 術文化会館さくら) 7(日)愛荘むら芝居「愛知川宿蝸牛庵」(ハーティーセン ター奏荘)	20(土)びわ湖・アーティスト・みんぐる C'プレコン サート(大津教会) 27(土)びわ湖・アーティスト・みんぐる 音楽とアート でつづるおうみの民話Vol.2(碧水ホール)	14(日)～21(日)滋賀県写真真展覧会(県立美術館) 文化・経済フォーラム滋賀「文化経済サロン」②
10月	25(土)親月舞台で楽しむ狂言と仲秋の名月(三井寺親 月堂) 26(日)(仮)淡海奇譚芸術祭-Ōmi Creative Tales Arts Festival-(豊郷小学校旧校舎群)	1(水)「湖国と文化」193・秋号発行	1(水)「れいかる」11/12月号発行
11月		8(土) びわ湖・アーティスト・みんぐる C' vol.3～ 伝統と創造の《関》～(中川能舞台)	11/1or3文化・経済フォーラム滋賀「文化ビジネス塾」 24(月・休)滋賀県文学祭(文化産業交流会館)
12月			1(月)「れいかる」1/2/3月号 4(木)～9(火)、12(金)～17(水)滋賀県美術展覧 会(県立美術館)
1月		1(木)「湖国と文化」194・冬号発行	
2月			「文化・経済フォーラム滋賀」総会・講演会
3月			1(日)「れいかる」4/5/6月号発行
調整中	アートコラボレーション事業 CLOVER DREAM LIVE2025 アートコラボレーション事業 共生のまち演劇プロジェクト アートと地域のためのパフォーマンスプロジェクト「ヴォーリス建築で奏でる音楽の調べ」③④		
その他	アートコラボレーション事業 The field glooming(登録有形文化財 元正蔵坊) 文化団体との協働 アート活動支援事業 障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業(共催)		

令和7年(2025年)度自主事業一覧

(びわ湖ホール)

大ホール

●プロデュースオペラ プッチーニ作曲 歌劇『トゥーランドット』(2公演)

2026年3月7日(土)・8日(日)
(イタリア語上演・日本語字幕付)

“創造する劇場”として情報発信を目指すびわ湖ホールは、開館以来、日本最高水準の力を結集してオペラの自主制作を続けており、その活動は全国的に高く評価されてきた。その中心となるプロデュースオペラでは、ヴェルディ日本初演作品シリーズ、共同制作による大規模かつ独創的なプロダクション、4年がかりで新制作・上演したワーグナーの大作《ニーベルングの指環》四部作(びわ湖リング)、そしてコロナ禍でもセミ・ステージ形式での制作を継続し、2023年にはワーグナーの主要10作品上演を完遂した。

芸術監督 阪 哲朗プロデュースオペラ第3弾は、プッチーニ作曲『トゥーランドット』。公募オーディションで選出した実力派キャストや、オペラ界を牽引する第一線のスタッフとともに、栗國 淳による新演出で、プッチーニが最後に遺した大作に挑み、びわ湖ホールの創造力を国内外に向けて強く発信する。

指揮：阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)

演出：栗國 淳

出演：トゥーランドット／谷 明美、並河寿美 カラフ／宮里直樹、清水徹太郎*
ティムール／妻屋秀和、西田昂平**、リュウ／吉川日奈子、船越亜弥*
アルトゥム／大野徹也、林 誠 ピン／晴 雅彦、迎 肇聡*、
パン／与儀 巧、福西 仁** ボン／中井亮一、奥本凱哉** ほか

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

**びわ湖ホール声楽アンサンブル

合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル、公募による市民参加

管弦楽：京都市交響楽団

●ジルヴェスター・コンサート 2025

12月31日(水)

1998年の開館以来、新年を素敵な音楽で迎えるカウントダウンコンサートとして大晦日に開催。一般参加のファンファーレ隊・合唱団の出演のほか、多数の協賛支援をいただいで行う抽選会など、上質な音楽とエンターテイメント性を併せもったコンサートとして定着している。2020年度から感染症の流行や交通事情の変化の影響を踏まえ、大晦日の昼間に開催しており、2025年度も引き続き昼間の時間帯で開催する。

指揮：阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)

ソリスト：久末 航(ピアノ)

司会：桂 米團治

管弦楽：大阪交響楽団

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

合唱：ジルヴェスター合唱団(一般参加)

ファンファーレ：ジルヴェスター・ファンファーレ隊(一般参加)

●マーラー・シリーズ

11月23日(日・祝)

2020年より始まった沼尻竜典×京都市交響楽団によるシリーズ第6弾。

指揮：沼尻竜典

管弦楽：京都市交響楽団

曲目：マーラー作曲 交響曲 第9番

●子どものための管弦楽教室

2026年3月22日(日)

2008年度より実施してきた好評のシリーズ。子どもたちが楽しみながら学べるだけでなく、大人も一緒にオーケストラについての知識や理解を深められる公演として毎回テーマを設定して実施し、親しまれている。

指揮：藤岡幸夫（関西フィルハーモニー管弦楽団 総監督・首席指揮者）
管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団

<名曲コンサート>（大ホール2公演）

クラシック音楽の初心者で何を聴いてよいかわからない方、そしてクラシック・ファンの方まで、気軽にかつ満足して聴いていただける選曲、出演者でお届けするコンサートシリーズ。大ホールでオーケストラ公演と器楽公演を実施する。

●日本センチュリー交響楽団

10月11日(土)

「これぞ名曲！」といわれる魅力ある楽曲をオーケストラの生演奏でお楽しみいただき、クラシック音楽ファンの拡大を図る。日本センチュリー交響楽団と共同主催で開催する。今回は、ピアニストとしても活躍する新進気鋭の指揮者 大井 駿による弾き振りでベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番、そしてブラームスの交響曲第4番を贈る。なお、大井と日本センチュリー交響楽団は初共演となる。

指揮・ピアノ：大井 駿
管弦楽：日本センチュリー交響楽団
曲 目：ベートーヴェン作曲 ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op. 58
（カデンツァ：ブラームス）
ブラームス作曲 交響曲 第4番 ホ短調 op. 98

●小林愛実 ピアノ・リサイタル

6月7日(土)

2021年「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞、2022年第31回出光音楽賞を受賞し、これからの演奏活動への期待も高まるピアニスト 小林愛実が登場。ショパン作品などピアノの名曲を演奏する。

曲 目：シューマン作曲 クライスレリアーナ op. 16
ショパン作曲 ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 op. 58 ほか

<声楽>

●特別コンサート「ウィーン少年合唱団」

5月10日(土)

“天使の歌声”と称され、世界中の人々に愛されているウィーン少年合唱団がびわ湖ホールに登場。創立から500年以上の歴史を持ち、世界各地で活躍し続ける彼らが、2025年大阪・関西万博にちなんで来日し、特別コンサートを開催する。

彼らのレパートリーに欠かせないオーストリアの作曲家 シュトラウスⅡ世の生誕200周年を記念し、特別プログラムをお届けする。

出 演：ウィーン少年合唱団、マヌエル・フーバー（カペルマイスター）
曲 目：シュトラウスⅡ世作曲 皇帝円舞曲
サン＝サーンス作曲 アヴェ・マリア ほか

●特別コンサート「ルチアーノ・ガンチ（テノール・リサイタル）」 10月13日(月・祝)

理想的なヴェルディ歌手として、若い世代では最も興味の惹かれる声を持つ一人とされるイタリアのテノール歌手 ルチアーノ・ガンチが、びわ湖ホールに初登場。大ホールに響く輝かしい歌声をお届けする。

出 演：ルチアーノ・ガンチ（テノール）
浅野菜生子（ピアノ）
曲 目：レオンカヴァッロ作曲 朝の歌
プッチーニ作曲 オペラ『トスカ』より 星は光りぬ
デ・クルティス作曲 帰れソレントへ ほか

●びわ湖ホール声楽アンサンブル「美しい日本の歌」 8月10日(日)

8月2日(土) 文化産業交流会館

びわ湖ホール声楽アンサンブルが、唱歌や童謡に加え、昭和や平成に親しまれた名曲をびわ湖ホール、そして文化産業交流会館の特設舞台「長栄座」で演奏する。

指 揮：本山秀毅（びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者）
出 演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
ピアノ：植松さやか
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団
曲 目：世界の国からこんにちは、花、夢の世界を、鷗、Di amonds<ダイヤモンド>
愛燦燦 ほか

●びわ湖ホール声楽アンサンブル<田中信昭氏追悼公演>

「愉しく、美しく、すてきな合唱を永遠に」

9月6日(土)

2024年9月にご逝去されたびわ湖ホール声楽アンサンブル名誉指揮者 田中信昭氏の追悼コンサートをびわ湖ホール声楽アンサンブルメンバー総勢26人で開催する。

出 演：中嶋 香（ピアノ）
びわ湖ホール声楽アンサンブル
曲 目：シューマン作曲 流浪の民
三善 晃作曲 生きる
武満 徹／林 光作曲 死んだ男の残したものは
野平一郎作曲 「幻想編曲集」より ずいずいずっころばし ほか

<室内楽>

●石田組（弦楽アンサンブル）

8月23日(土)

ヴァイオリニスト石田泰尚により2014年に結成された弦楽合奏団「石田組」。結成10周年の2024年11月には日本武道館公演を開催するなど人気絶頂のグループが、クラシック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで多岐にわたるレパートリーを極上の弦楽アンサンブルでお届けする。

出 演：石田組
石田泰尚、野尻弥史矢、塩田 脩、山岸 努、丹羽洋輔、伊東翔太（ヴァイオリン）
中村洋乃理、生野正樹、鈴木大樹（ヴィオラ）
西谷牧人、石川祐支、弘田 徹（チェロ）
米長幸一（コントラバス）

<大人の楽しみ方>

ファッションやライフスタイルにこだわりを持つ方々に、クラシック音楽のみならず様々なジャンルの音楽をお届けし、多様な芸術文化を楽しんでいただくシリーズ。今年は大ホール1公演、中ホール3公演を実施する。

●大人の楽しみ方 41 「Makoto Ozone No Name Horses ~20年目の the DAY 1」

12月21日(日)

ジャンルを超え世界規模での活躍を続けるピアニストの小曾根真の呼びかけで、2005年に結成された総勢15名のビッグ・バンド「No Name Horses」は、エリック・ミヤシロ、中川英二郎をはじめ、メンバーはいずれもあらゆるシーンで活躍するトップ・ジャズ・ミュージシャン。結成20周年全国ツアーとして3名の新メンバーを迎え、びわ湖ホールには、2010年3月以来約15年ぶりに登場する。

出 演：小曾根 真 (ピアノ)

エリック・ミヤシロ、奥村 晶、松井秀太郎、岡崎好朗 (トランペット)

中川英二郎、マーシャル・ジルクス (トロンボーン)

山城純子 (バストロンボーン)

岡崎正典、池田 篤 (アルトサククス)

三木俊雄、陸 悠 (テノールサククス)

岩持芳宏 (バリトンサククス)

小川晋平 (ベース)

高橋信之介 (ドラムス)

中ホール

<オペラへの招待>

「オペラをこれから見てみたい」という方におすすめの入門編となるオペラシリーズ。びわ湖ホール声楽アンサンブルが「オペラへの扉を開ける」をお手伝いする。

●オペラへの招待 レハール作曲 『メリー・ウイドウ』（4公演）

7月18日(金)～21日(月・祝)

(日本語上演、日本語・英語字幕付)

優美で心沸き立つ音楽と踊り、豪華さと楽しさを併せ持つ、『こうもり』と並ぶウィーン・オペレッタの超人気作を、本場の粋を知り尽くした阪 哲朗のもと、声楽アンサンブルがキャストを務める<オペラへの招待>シリーズとして新制作する。また、合唱やダンスで市民参加を募る。

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）

演出：唐谷裕子

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

並河寿美**、船越亜弥*、市川敏雅*、迎 肇聡*、島影聖人*、五島真澄*

竹内直紀*

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー、**客演

管弦楽：日本センチュリー交響楽団

●オペラへの招待

モーツァルト作曲 『劇場支配人』／レオンカヴァッロ作曲 『道化師』（4公演）

2026年1月24日(土)～27日(火)

(各原語上演、日本語字幕付)

ベルリン・コーミッシェ・オーパー首席カペルマイスターやドイツ・マクデブルク劇場音楽総監督などを務め、世界を舞台に活躍してきたキンボー・イシイを迎え、モーツァルトの喜劇とレオンカヴァッロの悲劇2本立てを上演する。

びわ湖ホール声楽アンサンブルが15年振りのダブルビル公演に挑戦。

指揮：キンボー・イシイ

演出：中村敬一

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

管弦楽：日本センチュリー交響楽団

<室内楽>

●上野耕平（サクソフォン）・三浦一馬（バンドネオン）・山中惇史（ピアノ）

トリオ・コンサート

8月24日(日)

上野耕平（サクソフォン）・三浦一馬（バンドネオン）・山中惇史（ピアノ）と常に進化を続ける若手実力派アーティスト3人が創り出す情熱のステージをお届けする。

なお、公演当日には、一般募集によるサクソクリニックを予定。

出演：上野耕平（サクソフォン）

三浦一馬（バンドネオン）

山中惇史（ピアノ）

曲目：ピアソラ作曲 フーガと秘密、レオノーラの愛のテーマ

ラヴェル作曲 ボレロ ほか

<大人の楽しみ方>

●大人の楽しみ方 38「北欧・スウェーデンの夏至祭 Västana (ヴェスタノー)」

6月15日(日)

スウェーデンの伝統が息づくヴェルムランド地方にある芸術文化の拠点「Västana Musik & Teater」。この劇場の音楽プロデューサー、マグナス&ソフィア・スティンネルボム夫妻を中心に6人のスウェーデンオールスターミュージシャンが集結し、太陽を祝う特別な音楽祭をお届けする。本場スウェーデンの夏至祭に彩られ、心と身体で感じる音楽を提供する。

出 演：ヴェスタノー

曲 目：オーヴェルスティナン作曲 パワフルウーマン

ロムヤンスヴァルセン作曲 ロムヤンのワルツ (スウェーデンの伝統的な曲)

その他オリジナルから夏至を彩るダンス曲 (ポルスカ、ショッティス、ワルツ)

など

●大人の楽しみ方 39「山中千尋トリオ」

7月5日(土)

ニューヨークを拠点に世界で活躍するジャズ・ピアニスト山中千尋によるトリオ・バンドが4年ぶりに登場。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているジャズ・ピアニスト山中千尋が率いるピアノトリオをお楽しみいただく。

出 演：山中千尋 (ピアノ)、畠山 令 (ベース)、橋本現輝 (ドラムス)

●大人の楽しみ方 40「小松亮太 バンドネオンカルテット」

11月15日(土)

タンゴというジャンル自体を体現し、アルゼンチン音楽家協会から表彰されるなど、世界的バンドネオン奏者である小松亮太は、1998年のデビュー以来、オーセンティックなタンゴ作品だけでなく、様々なメディア・番組とのタイアップを通じて、バンドネオンの魅力を発信し続けてきた。今回は、小松が信頼する3人のバンドネオン奏者、ギター、ベースと共に、アルゼンチンタンゴとバンドネオンの魅力をお届けする。

出 演：小松亮太、北村 聡、早川 純、鈴木崇朗 (バンドネオン)

田中伸司 (コントラバス)

福井浩気 (ギター)

曲 目：アストル・ピアソラ作曲 リベルタンゴ、アディオス・ノニーノ

小松亮太作曲 風の詩~THE 世界遺産

J.S. バッハ作曲 小フーガ ト短調 BWV578 ほか

<ダンス>

●ピーピング・トム「トリプティック」

10月4日(土)

現代の「ピナ・バウシュ」とも呼ばれるベルギーのダンスカンパニー「ピーピング・トム」が2017年3月以来の登場。卓越した身体能力を持つダンサーたちの目を疑うようなステージをお楽しみいただく。

コンセプト・演出：ガブリエラ・カリーソ、フランク・シャルティエ

演 目：トリプティック (三部作)

ミッシング・ドア

ロスト・ルーム

ヒドゥン・フロア

●山海塾「TOTEM 真空と高み」

11月1日(土)

国内外で高い評価を受け続けている舞踏カンパニー・山海塾。2024年3月に逝去した主宰・天児牛大の最後の作品（2023年世界初演）を関西では初めて上演する。

演出・振付・デザイン：天児牛大
舞踊手：蟬丸、竹内 晶、市原昭仁、松岡 大、石井則仁
岩本大紀、高瀬 誠、伊藤壮太郎
演 目：山海塾「TOTEM 真空と高み」

<演劇>

●二兎社公演 49「狩場の悲劇」

11月29日(土)

人間ドラマを通して日本社会や時代の様相を描いてきた永井愛が、帝政ロシアの人間社会をレポートしたチェーホフの「狩場の悲劇」を戯曲化。時間と空間を飛び越えた奇跡のコラボレーションが実現します。

作・演出：永井 愛（原作：チェーホフ）
出 演：溝端淳平、門脇 麦、玉置玲央 ほか

<古典芸能>

●野村万作・野村萬斎狂言公演（1日2公演）

12月6日(土)

開館当初から毎年好評を博している狂言公演を、引き続きお贈りする。人間国宝の野村万作、映画やテレビなどでもお馴染みの野村萬斎がお届けする人気の狂言公演で、近年、大好評の「親子三代共演」を予定している。

出演：野村万作、野村萬斎、野村裕基 ほか
演目：未定

小ホール

＜びわ湖ホール声楽アンサンブル定期公演＞（2公演）

びわ湖ホールの創造活動の核として設立されたホール専属の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」。定期公演は、オペラアリア、重唱曲、合唱曲、歌曲、宗教曲など、声楽の多様なジャンルで演奏する。

●第 81 回定期公演 モーツァルト作曲「レクイエム」 11月22日(土)

芸術監督の阪 哲朗が、2004年12月オペラ「アマールと夜の訪問者」（演奏会形式）以来21年振りに声楽アンサンブル定期公演に登場。ヨーロッパで四半世紀にわたり活躍を続けた阪ならではの、モーツァルトとハイドンの宗教曲の名作をお届けする。

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
エレクトーン：小倉里恵
曲 目：モーツァルト作曲 レクイエム
ハイドン作曲 天地創造（抜粋）

●第 82 回定期公演「イタリア・オペラの花束を〜林 康子を迎えて」

2026年3月21日(土)

世界の歌劇場でプリマとして活躍したソプラノの林 康子を監修に迎える。林自身が、約1年間に亘るメンバーへの指導を通して、一人ひとりの特性を活かしたアリアや重唱曲を選択してお届けする。当日の案内役は林自身が務める。

構成・案内：林 康子
ピアノ：越知晴子
曲 目：イタリア・オペラより アリア・重唱曲

＜びわ湖の午後＞

選りすぐりの演奏家による上質な音楽を、小ホールという親密な空間で聴いていただくシリーズ。どなたにも贅沢なひとときを過ごしていただけるコンサート。

●びわ湖の午後 67「池田香織 メゾソプラノ・リサイタル」 6月22日(日)

「びわ湖リング」全作出演、日本のワグナー歌手としても地位を確立する池田香織が2023年度に中止となったリサイタルを、満を持して開催する。テーマは「喪失と光明」。池田の今を聴く、必聴のリサイタル。

出 演：池田香織（メゾソプラノ）、石野真穂（ピアノ）
曲 目：ロッシーニ作曲 歌劇『オテロ』より 柳の詩
ワグナー作曲 『トリスタンとイゾルデ』より 愛の死
植松さやか作曲 羅生門（委嘱新作） ほか

●びわ湖の午後 68「山根一仁(ヴァイオリン) & 小林道夫(チェンバロ) デュオリサイタル」

11月30日(日)

圧倒的なテクニック、音楽性が話題の若手ヴァイオリニスト山根一仁と、日本が誇るバッハ音楽の権威 小林道夫によるヴァイオリンとチェンバロのソナタ全曲をお届けする。世代を超えた二人が奏でるデュオリサイタルをお楽しみいただく。

出 演：山根一仁（ヴァイオリン）、小林道夫（チェンバロ）
曲 目：J.S. バッハ作曲 ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ BWV1014-1019

●びわ湖の午後 69「川口成彦 ピアノ・リサイタル」

2026年3月14日(土)

第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位を獲得した川口成彦が、2022年の「音楽祭」以来の登場。2026年、生誕150年を迎えるファリャの作品を中心に、自身が得意とするスペインのピアノ作品を演奏する。

出演：川口成彦（ピアノ）

曲目：ファリャ、アルベニス、ドビュッシーの作品 ほか

<室内楽への招待>

多彩な演奏家による「室内楽」の魅力を紹介するシリーズ。世界の第一線で活躍する弦楽四重奏団の公演を開催するほか、室内楽の楽しさを様々な角度から紹介する。

●クアルテット・エクセルシオ（弦楽四重奏）

10月12日(日)

結成30年を超え、日本の常設弦楽四重奏として意欲的に活動するエクセルシオが弦楽四重奏の名曲を演奏する。

出演：クアルテット・エクセルシオ

西野ゆか、北見春菜（ヴァイオリン）

吉田有紀子（ヴィオラ）、大友 肇（チェロ）

曲目：モーツァルト作曲 弦楽四重奏曲第14番 ト長調 K. 387

シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第12番 ハ短調 D703「四重奏断章」

ヒンデミット作曲 弦楽四重奏曲第1番 ハ長調 op. 2

●葵トリオ（ピアノ三重奏）

11月16日(日)

第67回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人団体として初優勝。結成10年を目前にして、さらに演奏に磨きがかかる3人がびわ湖ホールに再び登場する。

出演：葵トリオ

秋元孝介（ピアノ）、小川響子（ヴァイオリン）、伊東 裕（チェロ）

曲目：プーランジェ作曲 哀しみの夜に

ドビュッシー作曲 ピアノ三重奏曲 ト長調

チャイコフスキー作曲 ピアノ三重奏曲 イ短調 op. 50

「偉大なる芸術家の思い出に」

<スタインウェイ“ピノ”シリーズ>

びわ湖ホール開館15周年を迎えた2013年に、初代芸術監督（～2006年度）故・若杉弘氏が自宅で愛用していたピアノ（スタインウェイ・ハンブルクモデル1978年製）を寄贈いただいた。本シリーズはそのピアノを活用しお届けする。

●スタインウェイ“ピノ”シリーズ vol. 11

ドイツ歌曲の愉しみ～わらい、あこがれ、とおいばしょ

12月14日(日)

初代芸術監督 故・若杉 弘氏が自宅で愛用していたピアノ（スタインウェイ・ハンブルクモデル1978年製）とびわ湖ホール声楽アンサンブルの歌声で様々な声楽曲の魅力をお届けするコンサートシリーズ。

ウィーン国立音楽大学声楽科でリートやオペラを長年指導し、同時に作曲家でもある三ッ石潤司のピアノと共に、ドイツ歌曲の魅力をお届けする。

ピアノ・構成：三ッ石潤司

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

熊谷綾乃、森 季子、奥本凱哉、市川敏雅

<気軽にクラシック>

実力派アーティストの演奏による、公演時間 1 時間、入場料 1,100 円のコンサート。クラシック音楽の楽しさを満喫できる、文字通り気軽に楽しめる公演をお贈りする。

●気軽にクラシック 41、42 (2 公演)

- ・気軽にクラシック 41 「上野博昭 フルート名曲選～美味しいアラカルト～」

8 月 31 日 (日)

出演：上野博昭 (フルート)、河合琴絵 (ピアノ)

- ・気軽にクラシック 42 「栗原未和 ソプラノ<愛のうた>」

2026 年 2 月 7 日 (土)

出演：栗原未和* (ソプラノ)、植松さやか (ピアノ)

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

<室内楽>

●特別コンサート「前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル」 10 月 26 日(日)

日本を代表する国際的ヴァイオリニスト前橋汀子が 3 年ぶりに登場。その優雅さと円熟味あふれる演奏で多くの聴衆を魅了し続けている。びわ湖ホールでは過去に名曲コンサートシリーズや音楽祭に出演し、好評を博した。今回は、300 席の小ホールでその音色を聴かせる。

出 演：前橋汀子 (ヴァイオリン)

津田裕也 (ピアノ)

曲 目：ブラームス作曲 ヴァイオリン・ソナタ第 3 番 二短調 op. 108

ファリャ作曲/クライスラー編曲 スペイン舞曲 ほか

●特別コンサート「イザベル・ファウスト 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」

2026 年 1 月 30 日(金)

正確無比なテクニック、深い考察に基づいた音楽表現、他のヴァイオリニストとは一線を画す実力派が、無伴奏で現代曲を含む意欲的なプログラムを披露する。

出 演：イザベル・ファウスト (ヴァイオリン)

曲 目：タルティーニ、イザイの作品 ほか

<声楽>

●びわ湖ホール四大テノール 2 Days! (再び) 2026 年 1 月 10 日(土)、11 日(日)

2024 年度の 2Days 公演も完売。「明るい歌声で皆さんを元気に」をモットーに活動する四大テノールが、再び楽しいステージを 2 日間お贈りする。

出 演：びわ湖ホール四大テノール (清水徹太郎、竹内直紀、古屋彰久、山本康寛)

植松さやか (ピアノ)

びわ湖の春 音楽祭 2025

びわ湖ホール芸術監督 阪 哲朗がプロデュースし、2023年度から新たにスタートした「びわ湖の春 音楽祭」。優れた音楽家の演奏を手頃な料金で提供し、多くの方々がびわ湖ホールを訪れ、気軽に舞台芸術を楽しんでいただくことで、芸術文化の振興・普及を図る。

2025年度は、合唱等に取り組む高校生と声楽アンサンブルが共演し、阪 哲朗が指揮をとる新たな取り組みも計画している。

また、関係団体・事業者による関連企画の実施を図るとともに、県内全域が音楽で盛り上がる期間（4～5月）を設け、県内各ホールと連携を図ることで、県域で関連の催しを開催し、各地域の活性化にもつないでいく。

日 程：4月 26日(土)・27日(日)

テーマ：挑戦

公演数：有料公演 15公演（大・中・小ホール）

（予定）無料公演 10公演（中ホール・メインロビー）

出 演：阪 哲朗（指揮／びわ湖ホール芸術監督）、村上寿昭（指揮）

京都市交響楽団（管弦楽）、上野通明（チェロ）

ハンスイェルク・シェレンベルガー（オーボエ）、石井楓子、鈴木愛美（ピアノ）

通崎睦美（木琴）、パブロ・エスカンデ、上尾直毅（チェンバロ）

並河寿美（ソプラノ）、片岡リサ（箏）、京都フィルハーモニー室内合奏団

第1回びわ湖ホールピアノコンクール受賞者、びわ湖ホール声楽アンサンブル
ドレクスキップ（北欧伝統楽器）ほか

普及事業

●びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 vol.16 モーツァルト作曲「レクイエム」

11月24日(月・休)

びわ湖ホール声楽アンサンブルの魅力を全国に向けて発信する東京公演。第81回定期公演と同プログラムを東京文化会館小ホールで実施する。

指 揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）

エレクトーン：小倉里恵

曲 目：モーツァルト作曲 レクイエム

ハイドン作曲 天地創造（抜粋）

●びわ湖ホール声楽アンサンブル学校巡回公演（5日間10公演）

5月8日(木)、9日(金)、12日(月)、13日(火)、14日(水)

県内の小・中学校を訪問し、学校の体育館をコンサート会場に変えて約1時間の本格的な音楽公演で歌の魅力を経験していただく。

指 揮：本山秀毅（びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者）

大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）

ピアノ：小林千夏

●ふれあい音楽教室

実施期間：9月～11月

県内の小学校の授業に声楽アンサンブルのメンバー2人とピアニストが参加し、ミニコンサートや歌唱指導を行う。オペラ『泣いた赤おに』実施校については、事前学習として同オペラの紹介も行う。

●県内巡回オペラ『泣いた赤おに』

実施期間：9月～11月

浜田廣介の児童文学を原作に、松井和彦が構成・作曲したオペラ『泣いた赤おに』を県内文化施設や学校の体育館で上演する。可能な限り、劇場さながらの本格的な美術、衣裳、照明を用意し、学校にしながら本格的な舞台芸術の魅力を体験していただく。

指揮：大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）

演出：中村敬一

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

会場：県内小中学校体育館、文化会館など

●受託事業 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）

実施期間：9月～11月予定

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業として、県外の小中学校にてオペラ『泣いた赤おに』公演を行う。

事前に行うワークショップでは「ふれあい音楽教室」と同内容の授業を行い、びわ湖ホールとびわ湖ホール声楽アンサンブルの活動、歌手という職業、オペラ『泣いた赤おに』について紹介する。

指揮：大川修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）

演出：中村敬一

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル

会場：指定された地域の小中学校・特別支援学校体育館

●ホスピタルコンサート

病院、福祉施設等を訪問し、病気療養や高齢など様々な理由で、気軽に劇場へ訪れることができない方にも、生の演奏をお届けする。

協力：一般社団法人滋賀県病院協会

●びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（「ホールの子」事業）（6日間 12公演）

5月28日(水)～30日(金)・6月3日(火)～5日(木) 大ホール

県内の子どもが舞台芸術に触れる機会を創出することを目的に、びわ湖ホール声楽アンサンブルが出演する大規模オーケストラ公演を実施する。誰もが文化芸術活動を楽しめる共生社会づくりの一環として、特別支援学校、教育支援センター等の児童・生徒も参加いただく。（非公開）

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）

管弦楽：京都市交響楽団

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

脚本・構成：中村敬一

●びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！〈一般公演〉（1公演）5月31日(土) 大ホール

滋賀県の児童に向けて実施している「ホールの子」事業を、子どもたちのご家族をはじめ、広く一般の方々にも知っていただき、お楽しみいただけるよう、同プログラムを一般向け公演として有料で実施する。

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）

管弦楽：京都市交響楽団

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

脚本・構成：中村敬一

●阪 哲朗オペラセミナーⅢ～『フィガロの結婚』～

8月18日(月)～22日(金) 大ホール

若杉・長野音楽基金を活用し、国内外で活躍する阪芸術監督が講師を務めるオペラセミナー第3弾。昨年度に引き続き、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』を取り上げる。

講 師：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
三ッ石潤司（新国立劇場オペラ研修所専任コレペティトゥア）
西 聡美（ベルリン国立歌劇場コレペティトゥア）
受講者：プロの指揮者、コレペティトゥアを目指す若手音楽家
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：大阪交響楽団

●林 康子 声楽曲研修

5月21日(水)～23日(金) 小ホール

若杉・長野音楽基金を活用し、びわ湖ホール声楽アンサンブルのための研修を行う。世界を舞台に活躍したソプラノ歌手 林 康子を迎え、指導の様子を広く一般に公開する。

講 師：林 康子
ピアノ：越知晴子
受講者：びわ湖ホール声楽アンサンブル

●アンサンブルの楽しみ ～演奏家のつどい～vol.17

11月2日(日) 小ホール

一般公募により選ばれた出演者たちによるコンサート。音楽愛好家の皆さんの“憧れの場”であるびわ湖ホール小ホールの舞台に立つていただくことに加え、プロのゲストプレイヤーを迎えて演奏と交流の場を提供する。

●劇場へ行こう！来たれ未来のパフォーマー

9月21日(日) 大ホール

一般公募で選ばれた24歳以下の出演者たちによるステージをお贈りする。ジャンルは、音楽、ダンス、芝居、朗読、落語、漫才などジャンルレスとし、多くの若い人達がびわ湖ホールの舞台に立つ機会を提供する。

●第2回びわ湖ホールピアノコンクール

予選 12月20日(土)、21日(日) 中ホール
本選 2026年2月1日(日) 大ホール

2024年度に初開催したピアノコンクールの第2回目。年齢不問で参加者を広く募集することで、優れた音楽的才能を持つピアニストを発掘し、自主公演の出演者として発信することを目指す。

審査員：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
上野 真（京都市立芸術大学教授）
土居知子（京都女子大学教授）

●ロビーコンサート

随 時

メインロビーを活用し、「七夕」や「ハロウィン」、「クリスマス」といった季節にちなんだコンサート、滋賀県ゆかりの若手演奏家によるコンサートを無料で開催する。メインロビーに設置している故・若杉弘初代芸術監督から2013年に寄贈されたピアノ（自宅で愛用されていたピアノ [スタインウェイ ハンブルクモデル 1978年製] 愛称“ピノ”）を引き続き「ロビーコンサート」にも活用していく。

●講座・ワークショップ等

公演に対する理解を深める機会づくりとして、自主公演のオペラに関連したセミナーおよびプレトークを開催する。

- オペラ講座 講師：東条碩夫
 - ・オペラ講座『メリー・ウィドウ』（1開催）
開催日：6月21日(土)
場 所：コラボしが 21
 - ・オペラ講座『劇場支配人』・『道化師』（1開催）
開催日：2026年1月12日(月・祝)
場 所：コラボしが 21
 - ・オペラ講座『トゥーランドット』（2開催）
開催日：2026年1月31日(土)、2月15日(日)
場 所：コラボしが 21

- プレトーク
 - ・オペラ『劇場支配人』・『道化師』プレトークマチネ（1開催）
 - ・オペラ『トゥーランドット』プレトークマチネ（1開催）

●びわ湖ホール夏休み企画 ピアノ解体ショー 8月3日(日)・4日(月)

音楽に関心を持ってもらうため、子ども向けの夏休み企画を行う。ピアノ調律師を講師に迎え、実際にピアノの中がどうなっているかを見せながら、ピアノの仕組みを解説する。

●まるっとステージツアー 随 時

舞台の裏側を“まるっと”体験できるステージツアー。劇場そのものを知ってもらうためのバックステージツアーとして開催する。

●大学連携「みんな集まれ～お月見とパフォーマンス」 9月13日(土) 公開リハーサル9月12日(金)

メインロビーを会場とした舞台パフォーマンスイベントを、連携協定を締結している成安造形大学、立命館大学と連携・協働して実施する。

前日の9月12日(金)は、公開リハーサルも予定。

出 演：いいむろなおきマイムカンパニー
北村成美（ダンサー・振付家）

共催事業

●東京バレエ団「眠れる森の美女」 6月14日(土) 大ホール

豪華絢爛で香り高いクラシック・バレエの最高峰。バレエファンからファミリーまで楽しめる感動的なステージをお届けする。

出演：東京バレエ団

オーロラ姫：沖 香菜子 デジレ王子：宮川新大

演奏：九州交響楽団

●TAIRIK プロデュース「古澤 巖の品川カルテット」(2公演+フリーコンサート)

6月19日(木) 大ホール

カリスマ的なパフォーマンスで聴衆はもとより、演奏家からも絶大な信頼を集める古澤巖が立ち上げた「品川カルテット」。古澤がその才能に惚れ込んだロベルト・ディ・マリーノ作品と弦楽四重奏の名曲を演奏する。客席数は限定 300 席に設定し、ゆったりと聞けるコンサートを2公演、そしてその前には乳幼児連れの方などを対象としたフリーコンサート(30分間の無料コンサート)を行う。

出演：品川カルテット

古澤 巖、福田悠一郎(ヴァイオリン)、TAIRIK(ヴィオラ)

高木慶太(チェロ)

曲目：ドヴォルザーク作曲 弦楽四重奏曲 第12番 へ長調 op.96「アメリカ」 ほか

●明和電機★UME ツアー2025

7月23日(水) 小ホール

オタマトーンなどキテレツな機械たちで知られる明和電機の社長たった一人が、全国を巡るコンサートツアー。

●Walzer!!!

8月30日(土) 小ホール

出演：森谷真理(ソプラノ)、藤井麻美(メゾソプラノ)

中嶋克彦(テノール)、駒田敏章(バリトン)

城谷正博(ピアノ)、古野七央佳(ピアノ)

曲名：ワルツ集「愛の歌」op.52、「新・愛の歌」op.65 ほか

●平和堂財団 鳩の音楽会 2025

9月14日(日) 中ホール

2024年度平和堂財団芸術奨励賞(音楽部門)の受賞者とこれまでの受賞者による演奏をお届けする。

●びわこのこえフェスティバル vol.8 (2公演)

9月23日(火・祝) 中ホール

オペラの合唱曲を中心にお届けする。

出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー ほか

●KEIBUN第九 2025 演奏会

12月6日(土) 大ホール

指揮：ユベール・スダーン

管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

独唱：船越亜弥* (ソプラノ)、山際きみ佳* (メゾソプラノ)

山本康寛* (テノール)、市川敏雅* (バリトン)

*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

合唱：KEIBUN第九合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル

曲名：ベートーヴェン作曲 交響曲 第9番 ニ短調 op.125 (合唱付き)

●ディズニー・オン・クラシック

12月22日(月) 大ホール

指揮：リチャード・カーシー

管弦楽：オーケストラ・ジャパン

令和7年(2025年)度 びわ湖ホール自主事業カレンダー

※共催予定事業を含む。

	大ホール	中ホール	小ホール
4月	26(土)・27(日) びわ湖の春 音楽祭2025	26(土)・27(日) びわ湖の春 音楽祭2025	26(土)・27(日) びわ湖の春 音楽祭2025
5月	10(土) 特別ウィーン少年合唱団 28(水)～30(金) 音楽会へ出かけよう! 31(土) 音楽会へ出かけよう! 一般公演		21(水)～23(金) 林康子声楽曲研修
6月	3(火)～5(木) 音楽会へ出かけよう! 7(土) 名曲)小林愛実 14(土)【共催】東京バレエ団 19(木)【共催】品川カルテット	15(日) 大人)夏至祭	22(日) びわ午後)池田香織
7月		5(土) 大人)山中千尋トリオ 18(金)～21(月・祝) オペラへの招待『メリー・ウイドウ』	23(水)【共催】明和電機
8月	10(日) 美しい日本の歌 18(月)～22(金) 阪 哲朗オペラセミナーⅢ 23(土) 石田組	24(日) 上野耕平Sax+三浦一馬バンドネオン+山中惇史Piano	30(土)【共催】Walzer!!! 31(日) 気軽)上野博昭フルート
9月	6(土) 声楽アンサンブル田中信昭氏追悼公演 21(日) 来たれ未来のパフォーマー	14(日)【共催】鳩の音楽祭2025 23(火・祝)【共催】びわこのこえフェスティバルvol.8	
10月	11(土) 名曲)日本センチュリー 13(月・祝) 特別)ルチアーノ・ガンチ(テノール)	4(土) ピーピング・トム	12(日) クアルテット・エクセルシオ 26(日) 特別)前橋汀子ヴァイオリン
11月	23(日・祝) マーラー・シリーズ	1(土) 山海塾 15(土) 大人)小松亮太 バンドネオンカルテット 29(土) 二兎社公演49	2(日) アンサンブルの楽しみ 16(日) 葵トリオ 22(土) 声楽アンサンブル第81回定期 30(日) びわ午後)山根一仁 & 小林道夫デュオ
12月	6(土)【共催】KEIBUN第九 21(日) 大人)小曾根真&No Name Horses 22(月)【共催】ディズニー・オン・クラシック 31(水) ジルヴェスター・コンサート	6(土) 野村狂言	14(日) ピノ・シリーズ
1月		24(土)～27(火) オペラへの招待 『劇場支配人』、『道化師』	10(土)、11(日) びわ湖ホール四大テノール 30(金) 特別)イザベル・ファウスト
2月			7(土) 気軽)栗原未和
3月	7(土)・8(日) プロデュースオペラ『トゥーランドット』 22(日) 子どものための管弦楽教室		14(土) びわ午後)川口成彦 21(土) 声楽アンサンブル第82回定期
調整中			
その他	4月～5月 音楽祭関連公演 5月 学校巡回公演 (5日間 県内小中学校10公演) 8月2日(土)美しい日本の歌 (米原公演) 8月3日(日)、4日(月)びわ湖ホール夏休み企画ピアノ解体ショー (リハーサル室) 9月～11月 県内巡回オペラ『泣いた赤おに』、文化庁学校巡回公演 (舞台芸術等総合支援)、ふれあい音楽教室 11月24日(月・休)声楽アンサンブル東京公演 びわ湖ホールピアノコンクール 予選: 12月20日(土)・21日(日) (中ホール)、本選: 2月1日(日) (大ホール) ロビーコンサート、オペラ講座・ワークショップ、まるっとステージツアー、大学連携: 9月13日(土) ホスピタルコンサート など		

令和7年（2025年）度自主事業一覧

（文化産業交流会館）

イベントホール

●クロワッサンサーカスショー

5月31日（土）

イベントホールの特性を活かしたファミリー公演として、生演奏とサーカスによるパフォーマンス公演を開催する。言葉を使わないステージを、小さなお子さまから外国の方まで楽しんでいただく。

●シエナ・ウインド・オーケストラによるアンサンブルの響演！

6月22日（日）

県内の学校や関係団体と連携しながら、中学校・高等学校の生徒等を対象に、シエナ・ウインド・オーケストラメンバーによる吹奏楽の初心者向けクリニックと演奏会を開催する。

●滋賀県次世代創造発信事業 芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル 2025

8月2日（土）～11日（月・祝）

- ① びわ湖ホール声楽アンサンブル「美しい日本の歌」米原公演 vol.5 8月2日（土）
- ② 長栄座 昔あそびのひろば 8月3日（日）
- ③ 「藤原道山&片岡リサ」尺八&箏デュオ・コンサート 8月9日（土）
- ④ 長栄座「湖北百景ー羽衣舞う余呉」 8月11日（月・祝）

イベントホールに特設する芝居小屋「長栄座」において15年目の開催。

- ① びわ湖ホール声楽アンサンブルが、日本の唱歌から昭和・平成のヒットソングまで、心に響く美しい歌、思い出のメロディーを「長栄座」の舞台で演奏する。
- ② 日本で古くから子どもたちに親しまれてきた伝承遊びや昔遊びを芝居小屋「長栄座」で行い、子どもたちのコミュニケーション能力を育むとともに日本の文化や伝統を感じてもらう。
- ③ 当館にゆかりがあり、伝統音楽の魅力を多くの人に伝え、また、その可能性を求め様々な音楽を追求する2人の演奏家によるコンサートをお届けする。
- ④ 「湖北百景」をテーマに湖北地域の魅力を古典芸能を通して伝える舞台公演。余呉の羽衣伝説を題材とした、片山九郎右衛門等による新作能と能「羽衣」を上演する。

●ぶんさん0歳児からのコンサート vol.5 ぱふおーまんすと楽しむおーけすとら 11月23日（日・祝）

ベビーカーに乗ったまま楽しめる「0歳児からのコンサート」。生まれてすぐの0歳児でも舞台芸術を体感でき、子育て中の保護者も共に楽しむことができる全世代向けのコンサート。オーケストラとパフォーマンスのコラボレーションをお楽しみいただく。

●ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「近江むかしがたり 其の三」 12月21日（日） （4月～出演者募集）

県内の子どもや青少年を対象に出演者を公募し、邦楽によるミュージカルに挑戦。次世代のコミュニケーション力や表現力・想像力を育むとともに、湖北地域を題材に取り上げ、地域文化資源の発信を図る。

●フィールドアート 2026

2026年1月18日(日)、25日(日)

県内外の高等学校・大学の吹奏楽部や一般のマーチングバンドなどが出演し、舞台照明で演出されたエンターテインメント性の高い企画。若さ溢れる躍動感のあるパフォーマンスをお届けする。

●ポピュラー音楽コンサート

年2公演予定

湖北地域で鑑賞機会の少ない大規模なコンサートを開催し、アーティストと観客が一体となったライブの醍醐味を楽しんでいただくとともに、当館周辺の経済効果にもつなげる。

小劇場**●びわ湖ホール声楽アンサンブル ぶんさんスプリングコンサート**

4月19日(土)

「びわ湖の春 音楽祭 2025」の米原公演として、びわ湖ホール声楽アンサンブルによるコンサートを小劇場で開催し、湖北地域の方に気軽にお楽しみいただく。

●びわ湖ミュージックフォレスト

年4公演

滋賀にゆかりのある新進アーティストによるコンサートを開催する。若いアーティストの育成・支援とともに、県北部地域の顧客を開拓し、リピーターの定着を目指す。

- ① 5月3日(土・祝) 弦楽四重奏
- ② 6月29日(日) Sax×Piano トリオ
- ③ 7月12日(土) 声楽
- ④ 3月7日(土) Flute×Cello×Piano トリオ

●びわ湖ミュージックコネクト

年2公演

第一線で活躍する滋賀にゆかりのある、各分野を極めた演奏家によるリサイタルを開催する。

- ① 9月20日(土) 田島茂代 声楽リサイタル
- ② 3月28日(土) 稲垣聡 ソロリサイタル

普及事業**【人材育成】****●滋賀県次世代創造発信事業 アートマネジメント人材養成講座**

年2回

舞台芸術や湖北地域の魅力を知っていただく講座。長栄座「湖北百景」などをテーマに、舞台芸術アドバイザーの小林昌廣にゲストを迎えて開講する。

- ① 6月8日(日) 長栄座をさらに楽しむプレ企画
- ② 秋以降 湖北をもっと知る講座

●滋賀県次世代創造発信事業 古典芸能キッズワークショップ 7月～11月(成果発表会 11月9日(日))

小学生を対象に、日本の古典芸能の世界を身近に感じ、その楽しさを次世代に伝える、箏と日本舞踊の稽古と成果発表会を行う。

●滋賀県次世代創造発信事業 箏曲ジュニア・アンサンブル 7月～11月（成果発表会 11月9日（日））

古典芸能キッズワークショップの箏部門の上級コースとして、中学生を対象に高度な技術が習得でき、アンサンブル演奏で日本音楽の魅力を発信できる人材を育成する。

●滋賀県次世代創造発信事業 邦楽専門実演家養成事業 10月～2月（成果発表会 2月8日（日））

若手・中堅の演奏家を対象に公募し、流派を超えた第一線で活躍の講師の指導のもと、より高い水準の邦楽実奏家の輩出を目指す。

【普及啓発】

●滋賀県次世代創造発信事業 「和のじかん」 10月～2月

当館事業に関わる邦楽（箏・三弦・尺八等）の演奏家を小・中学校に派遣し、体験プログラムを実施し、児童・生徒に古典芸能に興味を持ってもらう機会とする。

●びわこ文化センター 文化講座 通年

県北部地域の学びの場、交流の場として、約 70 の文化講座を開講する。会館事業と連携し講座内容の充実を図る。

●かがやき☆フェスタ 2025 5月21日（水）～25日（日）

びわこ文化センター受講生が日々培った成果を発表する場として、舞台発表や作品展示を行う。また、各講座の体験コーナーを設け、新規会員の獲得に努める。

【産業連携】

●ビジネス・カフェ in 文化産業交流会館 未定

産業分野をはじめ多様な方と芸術文化を通じた地域振興について考える講座を実施する。

●近江のあたらしい伝統産業展 8月11日（月・祝）

湖北地域をはじめとする県内の伝統的工芸品や特産品等の展示販売を行い、県内外にその魅力を紹介するとともに長栄座「湖北百景」を盛り上げる。

【情報提供】

●プレイガイド&アートインフォメーションコーナー 通年

情報紙、書籍等の閲覧、文化情報の提供、催し物チケットの販売のほか、県民の方々や県内文化ホールからの芸術文化に関する企画、舞台技術等の相談業務を行う。また、公益社団法人びわこビジターズビューローの協力を得て、滋賀の観光情報を提供する。

受託事業

●北の近江振興プロジェクト「北にきゃんせ音楽会」

県北部の活性化を目的に、滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」が小学校や高校を訪ね、箏のワークショップや演奏指導を行う。小劇場では、高校箏曲部と「しゅはり」によるコンサートを開催し、未来の邦楽演奏家の担い手が「北の近江」の魅力を発信する。

- ・学校アウトリーチ（高島地域の小学校へ「しゅはり」を派遣） 10月
- ・高校箏曲部への指導（「しゅはり」による演奏指導） 11月
- ・小劇場での公演（高校箏曲部と「しゅはり」の演奏） 1月12日（月・祝）

●平和堂財団 音楽事業

滋賀県内の次世代を担う若い人たちの健全な成長に長年にわたって注力されている公益財団法人平和堂財団の音楽事業を当財団が受託し、滋賀にゆかりのある若手演奏家の育成プログラムの制作を担う。

- ・芸術奨励賞受賞者による「鳩の音楽会」
9月11日（木）高槻城公園芸術文化劇場
9月13日（土）ひこね市文化プラザ
9月14日（日）びわ湖ホール
- ・室内楽セミナー&公演「びわ湖ミュージックハーベスト」 12月25日（木）～28日（日）
- ・音楽部門芸術奨励賞選考会 2026年1月12日（月・祝）

令和7年度(2025年度)文産会館自主事業カレンダー

	イベントホール	小劇場	ホール外
4月		・19日(土)声楽アンサンブル スプリングコンサート	
5月	・21日(水)～25日(日)かがやき☆フェスタ2025 ・31日(土)クロワッサンサーカスショー	・3日(土)ミュージックフォレストFile1	
6月	・22日(日)シエナ・ウインド・オーケストラによるアンサンブルの響演!		・8日(日)アートマネジメント 人材養成講座①
		・29日(日)ミュージックフォレストFile2	
7月		・12日(土)ミュージックフォレストFile3	
8月	夏 の フ ェ ス テ ィ バ ・2日(土)美しい日本の歌 ・3日(日)昔あそびのひろば ・9日(土)「藤原道山&片岡リサ」尺八&箏デュオ・コンサート ・11日(月・祝)長栄座「湖北百景」 // 伝統産業展		
9月		・20日(日)田島茂代 声楽リサイタル	・鳩の音楽会 11日(木) 高槻城公園芸術文化劇場 13日(土) ひこね市文化プラザ 14日(日) びわ湖ホール
10月	国スポ・障スポ(施設利用)		・北にきやんせ音楽会 学校アウトリーチ(高島 地域の小学校)
11月	・23日(日・祝)ぶんさん0歳児からのコンサート	・9日(日)古典芸能キッズワークショップ& 箏曲ジュニア・アンサンブル成果発表会	・北にきやんせ音楽会 高校箏曲部クリニック
12月	・21日(日)ユースシアター 邦楽ミュージカル	・25日(木)～28日(日) びわ湖ミュージックハーベスト 室内楽セミナー&公演	和 の じ か ん 学 校 訪 問
2026年1月	・18日(日)、25日(日)フィールドアート2026	・12日(月・祝)北にきやんせ音楽会	
2月		・8日(日)邦楽専門実演家養成事業成果発表	
3月		・7日(土)ミュージックフォレストFile4	
		・28日(土)稲垣聡ソロリサイタル	

(開催月日未定)

- ・ポピュラー音楽コンサート 2本(イベントホール)
- その他 ・アートマネジメント人材養成講座②(会議室等)

・ビジネスカフェ

(通年)

- ・びわこ文化センター文化講座
- ・プレイガイド&アートインフォメーションコーナー